



校訓～つよく かしく
なかよく あかるく～



笑顔

前期を振り返り 後期がスタート

10月10日（金）に前期が終わり、
10月14日（火）から後期がスタートしました。前期の終業式で校訓「つよく かしく なかよく あかるく」に向け、子供たちに身に付けさせたい3つの力について振り返ってもらいました。

①「つよく」

目標をもってチャレンジする。

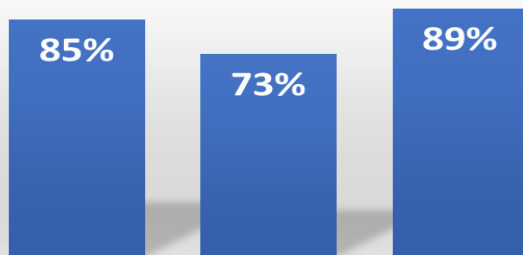
②「かしく」

しっかり、考えよう。

③「なかよく・あかるく」

言葉を大切に 元気なあいさつ

前期の振り返り



①チャレンジする ②考えよう ③言葉、あいさつ

- ① では、各学級で自分の目標を決め、頑張れた人が多かったようです。
- ② では、授業や学校生活でのルール等考える場面がたくさんありますが、まだまだ頑張れそうです。
- ③ では、温かい言葉かけができる子供が多いです。校内でのあいさつはとても上手です。地域でのあいさつもできるようになると、もっと笑顔が広がると思います。

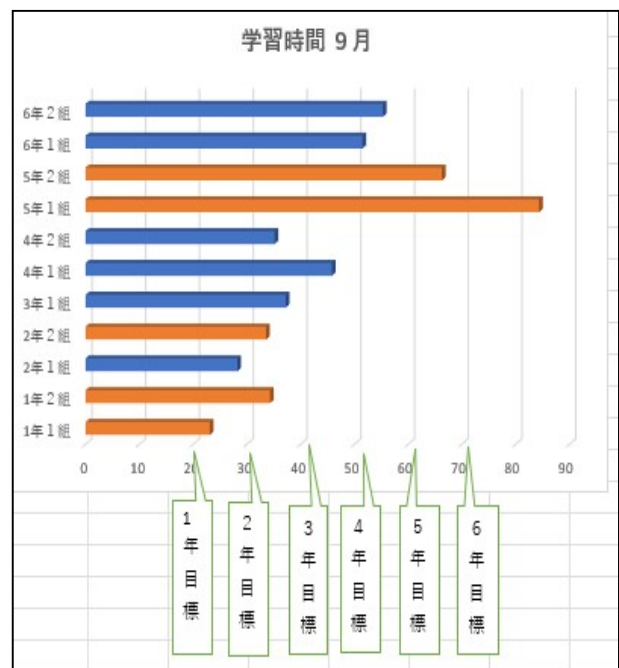
小中で取り組むあいさつの羽

中学校の総務委員会と小学校の運営委員会が合同であいさつ運動を行うことになりました。あいさつレベル4まであり、小学生はレベル2まで、中学生はレベル4までを目指そうという取り組みです。事前説明会に4年以上の代表と中学生の代表が参加しました。児童生徒の力で、どこまであいさつ運動が広がるのかとても楽しみです。



第2回 家庭学習強化週間 結果

今回は、1年生、2年生、5年生が目標時間を超える頑張りが見られました。中には、平日3時間も学習する人もいました。まずは、毎日の宿題をやれるようになることです。帰ってすぐに宿題をする児童もたくさんいます。次回も、目標達成を目指し、一人ひとりがチャレンジしてほしいです。家庭のご協力ありがとうございました。「やればできる」を実感させたいものです。



前期を振り返って

前期の振り返りを5人の人が発表してくれました。「ピカピカ係を頑張りました」

「お父さんと練習したら、勉強

ができるようになりました」「あきらめずに家族と練習をしたので水泳が上手になりました」「ノートのまとめ方を工夫したら、勉強が楽しくなり、うれしい気持ちになりました」「剣道の先生から、『継続は力なり』を教えてください感謝しています」一人ひとりの振り返りは、自分の成長の自覚や家族の協力による喜びを実感したり、先生の言葉を自分の生活に生かしたりと素晴らしい発表でした。子供たちは、人とのかわりの中で学び、成長しているのだと感じます。家庭での励ましや協力も成長を促していることがとても感じられた発表でした。



小中一貫した学びを目指して

9月に6年生と中学1年生との初の合同英語授業を行いました。子供たちは、学んだ英語表現を使いながら、買い物をするという設定で、授業を楽しんでいました。6年生にとっては、中学で習う会話も知る機会となりました



5年 集団宿泊教室

5年生は、水俣・芦北へ1泊2日の集団宿泊教室に行きました。水俣病に対する正しい理解と環境について学び、さらにみんなでやり遂げる活動として、マリン活動も体験しました。集団としての成長も感じた宿泊教室でした。

6年 修学旅行

平和の尊さ、戦争の悲惨さについて学び、友情を深めたハウステンボスでの思い出をつくった6年生の修学旅行が終わりました。事前学習を行い、語り部さんの話を聴き、資料館で当時の様子を知りました。子供たちは「平和な世界にするために、自分たちに何ができるか」そんな思いを持つことができました。



創立70周年記念 スクールライブラリー助成金授与

熊本県日本教育公務員弘済会より、創立70周年記念で、玉名荒尾管内2校が推薦され図書館教育の推進に活用するための助

成金10万円をいただきました。今年は、子供たちの読書量も伸びています。この助成金で新しい本を購入し、読書推進をさらに図っていきます。ありがとうございました。

